

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもと言葉		科目コード	19Y310	担当者	山本 尚史			
対象学生	幼児教育学科 1年生		学期区分	前期	単位数	1	担当形態	単独			
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	必修				
領域及び保育内容の指導法に関する科目		領域に関する専門的事項（言葉）				免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
幼児が豊かな言葉や表現を身につけ、様々な周囲の環境に関わりを深めていく上で必要な専門的事項を身につける。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・ 真摯性	② 多様性・ 協働性	③ 知識・ 技能	④ 表思考・ 創造力	⑤ 主体性・ 自立性	⑥ 就業力・ 貢献力
1.	言葉の意義や機能を理解する。					◎	△	◎	◎	○	△
2.	言葉に対する感覚を豊かにする実践について理解する。										
3.	児童文化財について理解する。										
4.						◎	△	◎	◎	○	△
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（80%） 提出物（20%）					
講義及びグループ演習、ディスカッションを取り入れる。グループ演習及びディスカッションでは提出物の作成・制作を求める。											
課題等への対応						授業外学修時間					
オフィスアワー及び授業後に質問を受け付ける。						週あたり60分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	言葉とはどのようなものか？					授業中の議論を各自復習すること					
第2回	子どもの成長と言葉					子どもと言葉の関係についての授業内容を復習すること					
第3回	子どもの感覚を豊かにする生活と言葉					日々の生活の中で子どもの言葉の様子に目を向けること					
第4回	言葉遊びについて					言葉遊びについて、各自イメージを持って受講すること					
第5回	年齢に応じた言葉遊びの実践について					言葉遊びについて考案し、イメージを具体化する方法を考える					
第6回	児童文化財とは					言葉遊びという概念を各自まとめる					
第7回	子どもの生活と児童文化財					言葉遊びの実践に備えた練習を行うこと					
第8回	子どもと言葉について考える					これまでの講義内容の復習と課題の振り返り					
試験	定期試験を実施する										
教科書	なし				受講生への メッセージ	子どもの言葉の発達の基礎を楽しみながら学んでいきます。積極的な議論及び課題作成・制作に取り組んでください。この講義を踏まえて、後期の「領域「言葉」の指導法」を実施します。					
参考書等	『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『認定こども園教育保育要領』										